

令和7（2025）年度

「運営に関する計画」



大阪市立西三国小学校

令和7（2025）年4月

大阪市立西三国小学校 令和 7 (2025) 年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

「学ぶ意欲をもち、人と豊かに関わるしなやかな子の育成」を学校教育目標として取り組んできた。

『安全・安心な教育の推進』については、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問において、大阪市小学校経年調査では令和 2 年以降は 8 割を超える児童が肯定的な回答をしている。また、学校アンケートでは、9 割を超える児童が肯定的に回答しており、引き続き児童が楽しいと感じながら過ごせるよう取り組みを進めたい。また、いじめについては、学校で認知したものはすべて解決に向けて対応を進めている。いじめに対する児童の認識を高め、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合の高めようと組織的な対応の充実を進めているところである。

『未来を切り拓く学力・体力の向上』については、全国学力・学習状況調査(以下、全国学力)や小学校学力経年調査(以下、経年調査)において、全国平均や全市平均と同じ水準を出せるようになってきている。ただ、経年調査の標準化得点にみる同一母集団の学力の状況については、全市平均正答率と同じかやや下回る状況が続いている。また、市平均の 7 割に満たない児童が 2 割程度いることが現状である。また、主体的・対話的で深い学びについては、令和 6 年度の経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」では、最も肯定的に回答した児童が 4 割ほどおり、引き続きより充実した活動を進めていきたい。

『学びを支える教育環境の充実』については、学習者用端末の活用促進が大きな課題としてきた。学習者用端末の活用を進めているが、デジタルドリルや協働学習支援ツールなどを活用することで、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて取り組んでいるところである。また、働き方改革の推進における「教員の勤務時間の上限に関する基準については、令和 6 年度 3 月における達成率は基準 1 が 48.65% (令和 7 年度末目標 49.7%)、基準 2 が 75.68% (令和 7 年度末目標 75.4%)となっている。本校における時間外勤務は全市の校種別平均時間よりも 8 時間ほど多くなっており、長時間勤務解消に向けた取り組みが継続して必要である。

I 学校運営の中期目標

中期目標

最重要目標【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の「学校に行くのは楽しいと思いますか（全国学力・学習状況調査等）」に肯定的に回答する児童の割合を86%以上とする。＜9つの基本方向の目標＞

○令和7年度末の「人の役に立てる人間になりたいと思いますか（全国学力・学習状況調査等）」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上とする。＜9つの基本方向の目標＞

○令和7年度末の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（小学校学力経年調査等）」に、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。＜R4 学校運営の指針 全市共通目標＞

○令和7年度末の「将来の夢や目標を持っていますか（全国学力・学習状況調査等）」に、肯定的に回答する児童生徒の割合を80.5%以上にする。＜振興計画 第2編 施策＞

最重要目標【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の平均正答率の対全国比（全国学力・学習状況調査等）を国語 1.00、算数 1.00 にする。
＜9つの基本方向の目標＞

○令和7年度末の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（小学校学力経年調査等）」に、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。＜R4 学校運営の指針 全市共通目標＞

○令和7年度末の体力合計点の対全国比（全国体力運動能力、運動習慣等調査等）を、男子 1.00、女子 1.00 にする。＜9つの基本方向の目標＞

○令和7年度末の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）等」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合児童の割合を62.6%以上にする。＜R4 学校運営の指針 全市共通目標＞

最重要目標【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度、授業日において学習者用端末を毎日使用する（ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）＜9つの基本方向の目標＞

○令和7年度末の「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を、【基準1】を49.7%以上に、【基準2】を75.4%以上にする。

＜9つの基本方向の目標＞

【基準1】時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

【基準2】1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。

○令和7年度末の学校図書館貸出冊数（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数）を38冊にする。

＜振興計画 第2編 施策より＞

○令和7年度末の「学校では『防災訓練』『地域とのふれあい活動』『お話し会』など地域の方と一緒に活動することがある（学校アンケート）」に肯定的に回答する児童及び保護者の割合を80%以上とする。

＜学校独自＞

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。(令和6年度85.1%)

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(昨年度32名)

○学校アンケート「自分にはよいところがある」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(令和6年度末85.5%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を66%以上にする。(令和6年度65.0%)

○小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(令和6年度81.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(令和6年度末29.9%)

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を76%以上にする。

○学校アンケート「読書がすき」の項目において肯定的に回答する児童の割合を76.5%以上とする。(令和6年度末70.1%)
(令和7年度末目標76.5%)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立西三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。(令和6年度85.1%)</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(昨年度32名)</p> <p>※前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握</p> <p>※改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)</p> <p>1 出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動をする事による出席認定含む)</p> <p>2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。</p> <p>3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>○学校アンケート「自分にはよいところがある」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(令和6年度末85.5%)(令和7年度末目標77.0%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1，安全・安心な教育環境の実現】(1-1 いじめへの対応)</p> <p>○西三国小学校安心ルールを指導のよりどころにして、いじめや仲間づくりに関する学習を実施することで、児童がいじめについて考える機会を継続的に確保するとともに、正しく理解できるようにする。また、児童が困ったときに、教職員集団全員で困り感を受け止め、丁寧に指導にあたる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校アンケート「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。(令和6年度84.9%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1，安全・安心な教育環境の実現】(1-2 不登校への対応)</p> <p>○安心安全教育部会を中心に、校内の状況を児童ボードやスクリーニング会議の結果を活用して共通理解を行い、第3者機関との連携も含めて組織的に対策を講じる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(令和</p>	

6 年度末 5.70)	
取組内容③【基本的な方向 2，豊かな心の育成】 自己肯定感を高めるために「いいところ見つけ」の取り組みを実施する。また、違いを認め合うための多文化共生の取り組みを実施していく。	
指標 学校アンケート「学校では、ひとりひとりの『ちがい』を大切にすることを学んでいる」に肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。(令和 6 年度末 95.1%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【最重要目標について】 取組内容① 取組内容② 取組内容③	

大阪市内西三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を66%以上にする。(令和6年度65.0%) ○小学校学力経年調査における、「毎日、同じくらいの時刻にねて、同じくらいの時刻に起きていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(令和6年度81.3%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 (4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進) ○1日に1回以上、教育情報利用パソコンを活用したり、話し合い活動を取り入れた授業を行うことで、様々な教科・領域での言語活動の充実や、ICTの活用を図り、主体的・対話的で深い学びの視点から学習展開の工夫を図る。	
指標 ○学校アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に最も肯定的に回答する児童の割合を45%以上にする(令和6年度末43.9%)(令和7年度末目標35.0%)	
取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 (5-1体力・運動能力向上のための取り組みの推進) ○児童の運動量を確保するために講堂や運動場を有効的に活用することをめざし、児童が楽しみながら運動ができるように遊び方や用具の工夫、休み時間の講堂の開放、運動場の使い方を見直すとともに、運動できる時間を増やす。	
指標 ○学校アンケート「運動が好き」に最も肯定的に回答する児童の割合を62.6%以上にする。(令和6年度末68.4%)(令和7年度末目標62.6%)	
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 (5-2健康教育・食育の推進) ○手洗いうがい、早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活習慣を身に付けるために以下のことに取り組む。 ・月1回の保健だよりの発行や生活習慣点検、健康委員会による健康目標の掲示や委員会発表などの活動を通して、家庭や児童に対して生活習慣の大切さを啓発する。 ・睡眠週間を年2回実施するとともに、出前授業の活用、保健指導や学級指導を通して定期的な指導を行っていく。	
指標 ○学校アンケート「ふだん(月曜日から金曜日)、同じくらいの時刻に寝ていますか。」という項目で肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(令和6年度79.5%)	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【最重要項目について】 取組内容① 取組内容② 取組内容③	

大阪市立西三国小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。(令和 6 年度末 29.9%) (令和 7 年度末目標 75.0%)</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 76%以上にする。(令和 7 年度末目標 75.4%)</p> <p>【基準 2】1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下、時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 6 以下、時間外勤務時間が 100 時間を超える月数 0、直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0、を全て満たす。(令和 6 年度末 75.68%)</p> <p>○学校アンケート「読書がすき」の項目において肯定的に回答する児童の割合を 71% 以上とする。(令和 6 年度末 70.1%)</p> <p>○学校アンケート「学校は『地域とのふれあい活動』『お話し会』『防災訓練』など地域と連携した教育活動を行っている」に対して、肯定的に回答する児童及び保護者の割合を 90%以上に保つ。(令和 6 年度 94.4%) (令和 7 年度末目標 80%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</p> <p>○様々な教科・領域で言語活動を充実させたり、ICT を活用したりして、主体的・対話的で深い学びの視点から学習展開の工夫を図る。</p> <p>指標</p> <p>○授業日において学習者用端末を使用する割合を 100%以上とする。(令和 7 年度末目標 100%)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○・ゆとりの日を週 1 回、月 3 回程度設定するとともに、業務を精選し、時間外勤務時間の削減に努める。</p> <p>・次月の職員会議案件を企画会実施日に共有し、時間にゆとりをもって案件を作成できるようにする。</p> <p>・企画会や職員会議で円滑な議論ができるように、チーム会やなかよし会等で案件の事前共有や意見交換を行う。</p> <p>・職員会議での共有事項の精選を行い、会議の時間削減に努める。</p> <p>・S S S に印刷業務や備品の作成等の業務を代行してもらうことで、教職員が担う業務を精選する。</p> <p>・各種行事などでも積極的に外部専門人材の活用などを行うことで効率化を図る。</p> <p>指標</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 76%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>○学校図書館、読み聞かせボランティア、読書ノートを活用したり、図書委員会にお</p>	

<p>いて読書が好きな児童を増やす取組を工夫したりすることにより、児童が読書に親しむ環境の充実を図る。</p>	
<p>指標 ○学校アンケート「読書がすき」に肯定的に回答する児童の割合を 70%以上を保つ。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 9、家庭・地域と連携・協議した教育の推進】 ○学校アンケート「学校は『地域とのふれあい活動』『お話し会』『防災訓練』など地域と連携した教育活動を行っている」に対して、肯定的に回答できるよう取り組む。</p>	
<p>指標 ○学校アンケート「学校は『地域とのふれあい活動』『お話し会』『防災訓練』など地域と連携した教育活動を行っている」の項目について肯定的に回答する児童の割合を 90%以上とする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【最重要目標について】 取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④</p>	